

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会の概要について

1 開催日及び参加者数

開催日	中学校区	参加者数	開催日	中学校区	参加者数
8月20日(月)	けやき台中学校区	14人	8月27日(月)	上野台中学校区	56人
8月21日(火)	狭間中学校区	15人	8月28日(火)	ゆりのき台中学校区	24人
8月22日(水)	長坂中学校区	32人	8月29日(水)	富士中学校区	39人
8月24日(金)	藍中学校区	28人	9月26日(水)	八景中学校区	35人
計					243人

2 発言の内訳

質問：78件、意見：6件

3 主な発言内容

(1) 基本方針策定にあたって

- ①学校再編も、行革の一環、公共施設マネジメントの一環で進めようとしているのではないか。
- ②農村地域とニュータウンが両立できるような三田らしい方針を示してほしい。
- ③将来推計をしているが、実際は私立中学校への進学等により生徒数はさらに減少する。楽観的な数字ではなく、より現実的な数字を示すべきではないか。
- ④アンケート結果は主観的なものであり、客観的な根拠、データを示してほしい。
- ⑤アンケートでも多くの人が「小規模化は望ましくない」と回答している。子ども同士の情報交換により、多様な考え方に触れるためには、一定の学校規模が必要であり、この基本方針に賛成である。
- ⑥ハブリックコメントの回答では「子どもの意見は聞かない」とのことであるが、子どもの意見を聞く必要があるのではないか。子どもの権利条約にも子どもが自分の考えを表出することは保障されている。

(2) 適正配置を考える上での基準および具体的な方策について

- ①小規模校のデメリットが強調されているが、小規模校でも、ICTや外部人材の活用等を工夫することでそのデメリットを解消し、小規模校のメリットを活かすことが出来るのではないか。
- ②再編により1学級の児童生徒数が増えたり、教室が不足することも予想されるため、人的な支援や施設の充実も検討してほしい。
- ③示されている適正規模や通学時間は、国の基準と同じである。三田独自の基準を決めるべきである。
- ④再編により校区が広がることが予想される。子どもたちの通学負担を少しでも軽減してほしい。(バス便の充実、スクールバスの運行等)
- ⑤再編するのであれば、充実した学校施設にしてほしい。

(3) 保護者・地域との協議について

- ①学校再編を進めるなら、対象となる地域、保護者が納得するように進めてほしい。
- ②地域協議会の構成に市民委員も入れてほしい。
- ③子どもが将来中学生になる幼稚園、小学校の保護者の意見をよく聞いて進めてほしい。何よりも「子どものことを第一に」考えて協議してほしい。

(4) 学校と地域との関係・まちづくりについて

- ①学校は、地域コミュニティの核として重要な役割を担っており、特に小学校は残してほしい。
- ②学校がなくなれば地域の過疎化がますます進むのではないか。三田市の魅力は、ニュータウンと農村部とが共存しているところである。農村部の魅力をもっとアピールし、子どもが増えるような施策(まちづくり)を市全体で考えてほしい。
- ③廃校跡地の活用について、地域とも十分協議してほしい。

(5) 今後のスケジュール等について

- ①学校再編対象校を早く教えてほしい。
- ②どの中学校区に地域協議会を設置するのか。構成メンバーはどのように考えているのか。
- ③「小学校については希望があれば」とのことであるが、中学校と一緒に検討する方が良いのではないか。

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月20日（月）19：30～20：35 会場：けやき台中学校体育館 出席者数：14人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①資料の中に小規模校のデメリットとして、「社会性がつきにくい」等の記述があるが、小規模校で学んだ子どもたちが大人になった時に社会性が乏しいという事実に基づくデータがあるのか。</p> <p>アンケート結果は主観的なもので、アンケートに答えた人の感想に過ぎない。アンケートは統計的な操作ができる数字である。客観的なデータがあれば教えてほしい。</p>	<p>①アンケートも参考としたが、アンケートのみで判断したものではない。アンケートの結果は規模に関わりなく、概ね同様の傾向を示している。</p> <p>審議会の中で学校関係の委員からも小規模校のデメリットについては、多くの意見があり、総合的に判断したものである。</p>
<p>②「単学級の学校が増えていることが課題」という説明があったが、三田市ではニュータウン開発までの時期、多くの学校が単学級であったのではないか。</p> <p>今、単学級が望ましくないという理由について、お聞かせいただきたい。</p> <p>客観的な根拠を示すことは、難しいのはわかるが、客観的なものを示すようにしてほしい。</p>	<p>②歴史的にも単学級の学校はあったが、以前と比べて同じ単学級でも人数が減ってきている。</p> <p>以前は、1学級でも30人程度の児童がいたが、現在は、1学級10人程度の学校もある。体育の授業でソフトボールやバスケット等も出来ないという状況にあり、小規模化の課題が大きい。</p> <p>また、家庭の状況も昔と比べて変化してきており、核家族化、少子化により、人との関係づくり、コミュニケーションの取り方が弱いという部分が課題である。</p> <p>新学習指導要領では、特に「主体的・対話的で深い学び」を視点に人となりの関係づくりの中で学び合い、高め合うという学習を取り入れていく必要があるということが示されているところであり、ある程度の人数が子どもの育ちに必要ではないかということで、メリット、デメリットの中に示し、基本方針を策定したものである。</p> <p>子どもたちが、支障なく教育活動を行える環境を整える必要があると考える。</p>
<p>③今日は学校再編の対象となる学校名は教えてもらえないのか。</p>	<p>③秋以降にお示しする。</p>
<p>④「望ましい学校規模」の説明の中で、「ある程度の教員数を確保できることから、余裕を持って学校運営ができる」という記述がある。</p> <p>現在単学級の学校に勤務しているが、1学級30人を超えるような学校である。担任しているととても大変である。統廃合すれば、教員数に余剰が出て、1学級40人近くの学級担任の負担を軽減するために、例えば、5・6年生の定数を40人から35人にする、小学校でも中学校のように副担任を配置する等の方策があれば、余裕をもって指導に当たれるのではないか。</p>	<p>④教員の配置定数は県が決定することから、市独自で定数を変えることは困難である。仮に、市費教員を配置しても学級担任はできない。</p> <p>市としても学びの力サポート教員や指導補助員、特別支援学級指導員・介助員等を市費で配置し、学習支援を行っている。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑤就学相談、教育相談が増えている。特に、未就園児が増えている。現場の教師としては専門性もない中で、たくさんの重度の障害があるお子さんを見る必要がある。</p> <p>できる限りの教育をしたいと思い頑張っているが、統廃合をすると、特別支援学級も増えることが想定される。</p> <p>今は、障害種別ごとに1クラスであるが、今後増えることも予想される。そのあたりの配慮も是非お願いしたい。</p>	<p>⑤特別な支援が必要な児童、生徒が増えてきていることから、市費で特別支援学級介助員や指導員を配置している。今後とも充実に努めたい。</p>
<p>⑥中学校から再編を検討するという説明だったが、それなら空調設置は小学校から先に設置した方がよかったのではないか。</p>	<p>⑥今夏の猛烈な暑さを考えると、小学校・幼稚園においても空調設備が必要と考えており、補正予算への上程準備を行っている。</p>

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月21日（火）19：30～20：35 会場：狭間中学校体育館 出席者数：15人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①基本方針では、将来の生徒数推計は、その地域に住む子どもが全て校区の中学校に就学することを前提としているが、現実的には私立中学校への進学等により、もっと生徒数は減少するだろう。</p> <p>現実とは違うあまり楽観的な数字を出すと、地域の人の危機感が乏しくなってしまうのではないか。（地域の方と話をする中では「まだ、大丈夫でしょ。」との声を聞く。）</p> <p>狭間中学校は H42 年には小規模になると予想されているが、10 年以上先の話なのか、10 年以内に小規模化するのか、もう少しわかりやすく数値を示すことができないのか。</p>	<p>①生徒の1割程度が私立中学校に進学すると想定されることから、資料にお示ししている生徒数推計より数字は減少すると予想される。</p> <p>仮に1割減ったとして推計しても、狭間中学校の場合、H36 年度時点までは、小規模校（8クラス以下）にならないと想定される。</p> <p>現在減ってきている小学校の層が、中学校へ進学する際に大きく減ってくることで予想されており、H36 年度以降は大きく減ると予想される。</p>
<p>②具体的にどの中学校区に地域協議会を設置するのか。対象の地域はどこか。</p>	<p>②8中学校区での説明会で意見をいただき、再編計画を秋以降にお示しする。</p>
<p>③小規模校のメリットとして「1人1人の状況に合わせた、きめ細やかな指導ができる」とあり、デメリットとして「教職員1人1人の校務や行事に関する負担が重くなる」となっているのは、矛盾するのではないか。</p> <p>小規模校では教職員にゆとりがあるのか、ないのか。大規模校の方がゆとりがあるのか。どちらが、子どもたちに対しての目配りが充実するのか、もう少し説明いただきたい。</p>	<p>③1クラス30人の学級と10人以下の学級では、人数が少ない方が目が行き届きやすいということはあるが、教職員数が少ないため、校務分掌を1人でたくさん受け持たないといけない。また、運動会等の行事の時に準備等が大変である等の課題が生じてくる。</p> <p>小規模校ではきめ細やかな学習指導が行いやすいというメリットがあるが、大規模校でも、新学習システムなどを活用し、クラスを少人数に割って授業をすることもできるし、加配教員を配置することも可能であり、小規模のメリットを取り入れることが可能である。</p> <p>一方、小規模校では、体育の授業でソフトボールやバスケット等も出来ないという状況が現実にある。大きい学校で小さくクラスを割って教育活動はできるが、小さな学校で人数を増やして教育活動をするのは難しい。</p> <p>子どもたちが、支障なく教育活動を行える環境を整える必要があると考えている。</p>
<p>④仮に、狭間小学校と武庫小学校が合併するとしたら、教室や児童クラブ等の施設の不足が生じる可能性がある。その点については、どう考えているのか。</p>	<p>④将来の児童生徒数の推計等を十分分析し、子どもたちの教育活動に支障が生じないよう、施設等についても考慮した上で、具体的な再編計画を検討し、お示ししたいと考えている。</p>
<p>⑤廃校後の学校施設の活用について、地域に押し付けるのではなく、市が最後まで責任を持って対応してくれるのか心配である。（武庫が丘コミセン移管の際、地域でうまくまとまらなかった経緯がある。）</p>	<p>⑤まだ具体的な再編計画をお示ししていない中で、お話しにくい面もあるが、廃校後の学校施設の活用については、全面的に地域に任せるということではなく、地域の方々と十分協議した上で、市として総合的に検討していきたい。</p>

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月22日（水）19：30～21：15 会場：長坂中学校体育館 出席者数：32人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
①「中学校を先に検討する」と説明があったが、実際に再編されるのは、早くて4年後と考えてよいか。	①地域協議会に2年かかるとすれば早くて4年後となるが、仮に地域協議会が1年で終われば、3年後から具体的な再編に向けて準備段階に入る可能性はある。
②これは、子どもの目線に立ったものなのか。学校再編の本当の目的は、行政改革の一環なのではないのか。	②審議会でも検討をしたが、市の経費だけを考えると、学校再編することで逆に経費がかかるという試算もある。あくまでも、子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するという視点で検討した結果である。
③「通学時間をおおむね1時間以内」という説明があったが、それだと三田市全域をカバーできるのではないのか。	③バス通学をするにしても家からバス停まで徒歩15分かかるということも考えられる。家から学校までのトータルを「おおむね1時間以内」と考えており、三田市内全体をカバーするのは難しいと考える。
④提示されている通学時間や適正規模（学級数）は、国の基準と同じではないのか。機械的に国の基準を当てはめただけではないのか。三田市独自の基準はないのか。 小規模校のメリット・デメリットは机上での検討であり、より実践的な検証はしたのか。現実的にどこに問題があるのか。	④通学時間については、審議会の協議の過程で、それより長い時間、短い時間も含めて検討し「おおむね1時間」という結論に至ったものであり、結果的に国と同じになっている。 望ましい学校規模についても、審議会委員には学校関係者も複数おられ、子どもたちの状況も経験からお話いただきながら、議論を深めた。また、保護者の委員からも意見をいただきながら議論を重ね、この結論に至っている。 小学校は最低でもクラス替えができることが望ましいということで、国と同じ12～18学級となったが、中学校では三田市の中学校の状況に照らし9～18学級という国（12～18学級）とは違う基準を示していただいた。
⑤小・中学校は、現在コミュニティの核となっている。 学校再編については、地域との関係を考慮していく必要がある。 「三田型コミュニティ・スクールを推進する」とあるが、それはどういうことか。	⑤教育委員会としては、「子どもたちの教育環境をどうしていくのか」ということを中心に考え、議論を進めてきたところである。 学校が地域コミュニティの核になっていることは理解しているが、学校の小規模化が進み、例えば中学校では部活の数が少なくなり入りたい部活に入れない、人数が少なくて活動ができないとか、小学校ではソフトボールやバスケットボール等の競技がなかなかできないという問題が起こっている。 協議を進めるにあたっては、コミュニティの核としての学校のあり方も含めて、子どもたちの教育活動において、不都合が生じないよう、子どもたちにとってどうなのかという視点を第一に検討を進めていきたい。 「三田型コミュニティ・スクール」は、学校運営協議会を設置し、学校・地域・家庭を含めた中で、協議をしながら進めていくというもので、今までと違った制度を取り入れながら、より地域と密着した学校教育を推進していこうというもの

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑥この方針は「学校の統廃合ありき」で作成されているとしか考えられない。</p> <p>私たちが子どもを増やしたいと思っているが、市の都市計画（まちづくり）において様々な制約があり、うまくいかない。家を建てたくても、調整区域のため建てられない。子どもが減るのが当たり前である。教育委員会は、学校再編と言う前に、市にそのことを指摘したのか。</p> <p>アンケートの結果として「小規模校化は望ましくない」という回答が多かったということだが、それは市全体の数字であり、ニュータウンと小規模校区の住民では、意識が違うはずである。全体で何パーセントと言われても納得できない。</p> <p>小規模校のデメリットばかり強調されているが、それに勝るメリットがあるのではないか。小規模校の子どもたちの笑顔を守れるようにしてほしい。</p>	<p>である。</p> <p>⑥小規模校にも多くのメリットがあることは承知している。小規模のメリットを否定するものではない。審議会の中では、学校再編以外の方策も含めて協議した上で、「再編」ということを判断した。また、基本方針案を発表した際、パブリックコメントも取り、市民のみなさんの意見もお聞きした上で、この基本方針を策定しており、決して「学校の統廃合」という結論ありきで進めてきたものではない。</p> <p>子ども同士で学び合える環境を考えていきたい。</p> <p>人口減少は全国的な傾向であり、この先も減り続けると予想される。市のまちづくりについては、総合計画の中でもお示ししているように、様々な施策により取り組みを行っている。地域のみなさんもいろいろな形で努力していただいていることも理解している。そのような中で子どもたちは毎日そこで勉強する。子どもたちが9年間学ぶ環境を考えていく必要があるのではないかと考えている。</p> <p>調整区域については、家を建てる際、条件が合えば建築可能な場合があったかと思うが、改めて調べておく。</p> <p>アンケートにおいて「小規模化は望ましくない」と回答された人の割合は、ニュータウンと小規模校区とでは大きな違いはなく、同様の傾向であった。</p> <p>小規模校のメリットを否定するものではない。大規模校で、例えば新学習システムを利用して少人数学習（きめ細やかな指導）をすることは可能だが、小規模校で大規模校のメリットを活かすことは難しい。他の学校でできていることが小規模校ではできない。小規模校のデメリットは如何ともしがたい部分がある。</p> <p>中学校では、免許外指導や部活動等の課題が特に大きく、経験上、指導面から、小学校で各学年2～3学級、中学校では3～6学級という規模は、実感として妥当と感じる。</p> <p>人間関係に問題が生じた時も、学年に2学級以上あればクラス替えにより人間関係をリセットすることも可能であり、子どものしんどさを取り除いてあげることできる。今は1クラス10人以下というクラスも増加しつつある。</p> <p>家庭の状況も昔と比べて変化してきており、核家族化、少子化により、人との関係づくり、コミュニケーションの取り方が弱いという部分が課題であり、同じク</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
	<p>ラスの小集団の中での相性もあるし、力関係をもった中で、上下関係が出来てしまい、人間関係が固定化するというのも実際にある。</p> <p>それが、小学校1年生から6年生まで、さらに言うと中学校3年まで続くということは、子どもにとって非常にしんどいことである。</p> <p>クラス替えをすることにより、人間関係をリセットしてあげられることから、最低でも2クラスは欲しいということで、子どもたちの思い、しんどさを考えて、審議会でも議論され、この「望ましい学級数」が示されたものである。</p>
<p>⑦部活動については納得できるが、人間関係については小規模の方が人間関係が密になり、その子を放っけないという時があるということもある。クラス替えだけが方法かと言えば、それは一概に言えないのではないか。</p> <p>様々なことを考慮してもらっていることは理解できるが、やはり現場の子どもを見て、地域の方がどう関わっているのかを見て検討していただきたい。(要望意見)</p>	<p>⑦（回答不要）</p>
<p>⑧説明を聞いていると、「大規模校の子どもの方が優秀な人材である」と聞こえる。</p> <p>国の答申（方針）を鵜呑みにしているのではないか。審議会自体もそこに向けての審議会ではなかったのか。</p> <p>本当に子どものことを考えるのであれば、もっと先生の質を高めるなど、子どもに目が向けられるはずである。</p> <p>小規模校でも、先生のやり方でコミュニケーション、学力は変わらないのではないか。</p> <p>「財政的に苦しいから学校再編する」というなら理解できるが、逆にお金がかかるのになぜ学校再編を行うのか。本当は財政的理由なのに、子どもの教育ということ「隠れみの」にしているのではないか。経費を全面に出すと反対が多いからではないのか。</p>	<p>⑧「大規模校の子どもの方が優秀」と聞こえたということであれば、こちらの説明不足であるが、「大規模校の子どもの方が優秀」と言っている訳ではない。</p> <p>一つの尺度として、全国学力学習状況調査の結果においても、規模と学力は相関関係にあるとは言えない。</p> <p>指導している者として、多様な機会に触れるほうがいろんなことを考えていくチャンスになると考えている。そのことを考えて中学校では3クラス以上が望ましいと実感としても感じる。</p> <p>実際に小規模校ということで、ニュータウンに転居される方もいらっしゃる。また、部活が少ないからということで、地元の中学校に行かないで私学に行かれたり、転居される方もいらっしゃる。そうではなくて、市内のどこに住んでいても同じ教育を受けられる、いわゆる公教育の公平性を確保するということが、地域コミュニティの推進にもつながるのではないかと考えている。</p> <p>決して統廃合ありきで進んだわけではなく、教育的視点から「子どものために」考えて、お示ししているものである。学校再編の是非については、地域協議会において、ご協議いただき結論を出していきたい。</p> <p>経費の件については、国、県で教職員の人件費を負担していることから、国、県、市全体の経費を考えると経費は少なくなるが、市の経費は施設改修、通学バスなどを考えると、少なくならず、むしろ今以上にかかる予想される。</p> <p>経費がかかることはわかっているが、「子どものために」ということで検討したものであり、財政的な理由によるものではない。そのことは、ご理解いただきたい。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑨市のホームページを見ると、アンケートの回答者は女性や若い人が多かった。それでは、偏った結果しか出ないのではないか。本庄地区の結果についても公表されていないのでわからない。</p> <p>もうこの時期に、具体的な再編計画は決まっているのではないか。</p> <p>新聞に小学校への空調設備設置という記事が載っていた。学校再編の対象となる小規模校は、今後設備の改修をしないなどという事がないようにしてほしい。</p>	<p>⑨アンケートは、対象の家庭に配布したものであり、結果として回答されたのは女性が多かったということである。</p> <p>具体的な学校再編計画については市内8中学校での説明会でのご意見等も聞き、秋以降にお示しできるよう検討しているところであり、現時点で確定しているものではない。</p> <p>空調設備については、学校再編とは関係なく全ての小学校、幼稚園の普通教室で設置の予定である。</p> <p>また、再編の対象となっているからという理由で、今後の設備改修等を後回しにするということはない。</p>
<p>⑩小学校については「希望があれば検討」となっているが、誰からの希望で時期等はどのようなイメージか。</p> <p>希望がなければ、小学校の検討の時期はいつ頃となるか。</p>	<p>⑩「校区住民から希望があがる」ということを想定している。</p> <p>中学校の方向性がある程度、明らかになった時点で、小学校についても検討したい。</p>
<p>⑪中学校の「9学級以上」というのは、生徒数でいうと何人以上なのか。</p>	<p>⑪9学級以上になるための最低人数は243人（81人×3学年）となる。</p>
<p>⑫本庄小学校、長坂中学校は、地域づくりの拠点になっている。子どもたちが地域の主役となっている。</p> <p>今後、学校再編する場合は、校区と行政区の整合性をとってほしい。広野小学校は現在5校区である。</p> <p>市は「子育て」に関する経費を削減している。市全体で、子育て・子どもを中心に据えた施策を展開し、魅力を高め、人口が増えるようにしてほしい。</p>	<p>⑫学校と地域との関係の重要性は、十分認識しており、可能な限り校区と行政区の整合性を図っていきたい。</p> <p>全市的な経費削減の中で、「子育て」でも、削減されている部分はあるかもしれないが、限られた財源の中で市としては「子育て」を最重要施策として位置付けている。</p>

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月24日（金）19：30～21：25 会場：藍中学校体育館 出席者数：28人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①この基本方針は、三田市独自のものか。国や県の指示によるものか。</p> <p>審議会会長は滋賀大学の先生だが、なぜ三田の学校のことを協議するのに、滋賀大学の先生なのか。</p>	<p>①この基本方針は、三田市の状況を基に作成した本市独自のものである。国や県からの指導があったものではない。</p> <p>学校の小規模化に伴い教育活動に様々な課題が生じていることから、基本方針を策定したものである。</p> <p>会長は、委員依頼当時兵庫教育大学に勤務されていた。その後、人事異動で滋賀大学に異動されたという経過がある。三田市に居住されている。</p>
<p>②審議会委員には報酬を出しているのか。</p> <p>次期学習指導要領の3つの柱の中で心の問題についてはどう取り組もうとしているのか。</p> <p>できれば、心の部分も基本方針に記載してほしい。</p>	<p>②市の条例に基づき、委員報酬を支払っている。会長は10,400円、委員は3,800円の報酬を支払っている。</p> <p>知徳体の3つの力をバランスよく育てることは、市の教育振興基本計画の中でも謳っている。心の問題も大切な教育課題である。ふるさと学習でふるさとを思う心や道徳教育で規範意識を養う、体育で強い体を鍛えるということで3つがバランスよく育っていくように指導しているところである。</p>
<p>③教員の働き方改革にもつながることから、部活動指導については外部人材の活用を考えてみてはどうか。</p> <p>免許外指導を解消するためにも、教科指導についても、地域の人材を活用すれば解決するのではないか。</p> <p>様々な方法を工夫すれば、小規模校でも十分やっていける。</p>	<p>③部活動は、大切な教育活動であり、部活運営については顧問教員の関わり（生徒への指導、試合時の生徒引率等）が必ず必要である。外部人材の活用について1つの方法ではあるが、その活用については限界がある。</p> <p>平成20年度117あった市内中学校の部活動が、平成30年度は、88に減っており、これは生徒数の減少によるところが大きい。また生徒数の減少に伴い、顧問も減っている。現在、合同部活動にかかる移動の補助も行っている。小規模校では7つの部活動しかないのに対し、大きい学校では17の部活動があり、選択できる部活動にも差が生じている。なお、現在88の部活動のうち、11の部活動で外部人材の活用を行っている。</p> <p>部活動指導員については、教員の働き方改革も含め、現在検討委員会で導入について検討しているところである。</p> <p>教科では、特に小学校で子どもたちの体験活動など様々な場面でご支援をいただいております。今後もコミュニティ・スクールを三田全体で進めてまいりたいと考えている。現在、小中28校のうち12校(今年度15校になる予定)で外部人材の活用を積極的に進めていきたい。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>公共施設マネジメントにより、市は公共施設を整理しようとしている。今回の学校再編も、財政上の理由によるものではないのか。</p>	<p>学校については、公共施設マネジメントとは別で考えており、あくまでも教育的観点から判断している。試算によると学校再編することでかえって財政的負担が増えるという予想も出ており、財政的理由によるものではない。</p>
<p>④小規模校のデメリットとして、「社会性やコミュニケーション能力が養いにくい」とあるが、小規模校であってもICT等を工夫することで、お互いに刺激し合えるような教育活動は可能ではないか。</p>	<p>④審議会の中でもICT活用についての意見が出たが、各委員から、やはり直接的な人と人とのつながり、触れ合いによって、人間関係を深めていくことが大切であるという意見をいただいた。やはり直接的に人と人が触れ合って成長していく環境が必要ではないかと考えている。</p>
<p>⑤会場には100以上の座席が準備されているのに、出席者が30人程しかいない。本当に聞いてほしい小中学校の保護者が来ていないのが残念である。自分は、地域に小学校があるという理由で転居してきた、地域にとって小学校は本当に大切なものである。他の校区の出席人数はどれぐらいか。</p>	<p>⑤20日 けやき台中学校 14名 21日 狭間中学校 15名 22日 長坂中学校 32名 23日 八景中学校 台風の影響により延期</p>
<p>⑥和太鼓教室 月謝が必要。月謝を払うとなるとほとんどの方が、参加されない。三田市の貧困率は何パーセントか。</p>	<p>⑥就学援助を受けておられる割合は7%弱 市内全体の貧困率は13.6%である。</p>
<p>⑦参加者が少ないのはPR不足ではないか。子どもの減少から学校の統廃合は避けて通れないだろうが、市が「子どもの夢と未来が輝くまち さんだ」と謳っているのだから、「統廃合ありき」ではなく地域住民と十分話し合ってほしい。「小中一貫校（義務教育学校）については考えていない」という説明があったが、もし統廃合するのであれば、充実した新しい学校施設を作ってほしい。（要望意見）</p>	<p>⑦(回答不要)</p>
<p>⑧地域との協議スケジュールの中で記述してある「地域との合意形成」はどのように図っていくのか。</p>	<p>⑧秋以降、学校再編の具体的な案を示し、対象となる地域に協議会をつくり、「子どもたちにとってどういう環境をつくるのが良いのか」という視点で協議していただきたいと考えている。 具体的には、様々な意見の方がおられると思うので、校区内でアンケートを取ったり、話し合いを重ねながら、合意形成を図っていただきたいと考えている。</p>
<p>⑨地域には「1人でも子どもがいれば学校をつぶさない」という強硬におっしゃる方もいる。そういった意見の方もフォローしていただけるのか。</p>	<p>⑨地域協議会に参加されて意見が変わるという場合も想定される。「100人の方が100人とも賛成する」というのは、現実的には難しいかもしれないが、例として、他市では、保護者の意向を最終的に尊重され、意見をまとめられた例もある。 今後のまちづくりの方向性も含めて、協議を重ねながら結論を導き出していきたい。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑩学校再編が行われれば、学校が遠くなり、さらに私立学校への進学が増えるのではないか。</p> <p>学校がなくなれば、地域の過疎化がより進むのではないか。</p> <p>「再編してもまた何年かしたら再々編しなければいけない」という事にならないように未来予測して案を考えてほしい。</p>	<p>⑩通学時間については、1時間以内を基準としている。私立学校への進学については、各家庭の考え方もあるので、制限をかけることは出来ないが、その事も考慮しながら、学校再編案を作成したい。</p> <p>現在まちづくり協議会等でも地域のことについて協議していただいている。過疎化対策など、まちづくりのことについて協議の中で出てくると思うが、市として共に考えていきたい。</p> <p>ご意見を参考に、取り組みを進めたい。</p>
<p>⑪次期学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」は、小規模校の方がやりやすいのではないか。アンケートで「小規模校は、望ましいか望ましくないか」と聞かれたら、誰でも「望ましくない」と答えるだろう。</p> <p>「小学校から希望のある場合は再編を検討する」とあるが、それは小学校の「校長から」ということか。</p>	<p>⑪昔と比べてコミュニケーションの取り方が苦手になっている。「主体的・対話的で深い学び」をしようとするれば、子どもたち同士の対話を通して学び合って、高めあっていくというような学習方法を取り入れていかなければならない。</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を実践するためには、やはり多様な考え方に触れることが必要であり、そのためにはある程度の学校規模が必要と考える。</p> <p>「小学校区の地域から希望があった場合」と考えている。</p>
<p>⑫審議会委員13人で、市の大きな流れを変えられるのか。</p> <p>市としてどれ位の年数で統合しようと考えているのか。</p> <p>昔は必ずどれかの部活動に入るのが当たり前だったが、今はどうか。部活動には入らなくてもよいのか。</p> <p>外部指導者の導入を検討中とのことだが、結論はいつでののか。</p>	<p>⑫答申は審議会から出していただいたが、今回の基本方針は、市民の皆さまからのご意見(パブリックコメント)も聞き、教育委員会での承認を経て策定されたものである。</p> <p>平成31年度から地域協議会を立ち上げ2年間協議していただくこととしている。2年間の間で十分議論を尽くしていきたい。</p> <p>現在約90%の生徒が部活動を行っている。大きな中学校17の部活、小さな学校は7つしか部活動がない。部活動に入らなくても地域のクラブで活動している生徒もあり、絶対に部活動に入らないといけないということではない。</p> <p>外部指導者は既に導入している学校もあるが、国が新たに示した部活動指導員については来年度からの導入を予定している。</p>
<p>⑬学校は学校だけのものではなく、地域のものである。小学校はコミュニティの核であり、小学校を中心に地域の活動がされている。</p> <p>統廃合により地域コミュニティが崩壊し、地域の過疎化はますます進むだろう。</p> <p>公共交通機関が未発達の中で、ますます住民にとって不便になる。そのことも十分考えてほしい。(要望意見)</p>	<p>⑬ (回答不要)</p>

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月27日（金）19：30～21：25 会場：上野台中学校体育館 出席者数：56人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①具体的な学校再編案は、もう決まっているのではないか。 「児童生徒にとってより良い教育環境を整える」というなら、学校の樹木の管理等、市が責任を持ってやってほしい。財政的な対応をちゃんとやってほしい。</p>	<p>①現在実施している説明会での意見も参考に具体的な案を決定したい。 実態として既に学校で地域・保護者の支援をいただいております、感謝しています。限られた予算の中で、学校は工夫してやっている。 今後も子どもたちの教育に支障がないように財政的な対応をしていきたい。</p>
<p>②具体的な学校再編案はもう決まっているのではないか。アンケート結果のみを取り上げて「再編」というのはどうか。ホームページにも載っていたが、一体どれだけの人が見ていたのか。 市の今後の事を考えると、例えば大規模校で校舎を増築するのではなく、バスで他の学校に送迎するなどして、今ある校舎を活用した方がよいのではないか。（私の仕事は5時半までである。仕事の関係で、バスで子どもが30分早く出て、30分遅く帰ってきてくれたら、非常にありがたい。そういう方の希望を募れば、1クラスぐらい作れるのではないか。） 審議会のPTA委員は大規模校区の委員ではないか。 再編を進めるなら、対象となる小規模校の地域・保護者が納得するように進めてほしい。</p>	<p>②ホームページや広報紙等様々な方法で情報発信を行うとともに、今回のように各地域での説明会を開催し、直接、保護者、地域みなさんに説明させていただいている。 大規模校（ゆりのき台小）の校舎増築については、校区の急激な住宅増により将来推計として教室が不足し、教育活動に大きな支障が出るのが予想されることから行っているが、10数年後には、児童数が減少していくと考えている。</p>
<p>③パブリックコメントでも書いたが、この基本方針は学校再編ありきのものだと思う。「クラス替えができる」というのは当たり前のものであり、ニュータウンと農村地域とが両立できるようなもっと三田らしい方針を示してほしい。（要望意見）</p>	<p>(回答不要)</p>
<p>④以前、川西のニュータウンに住んでいたが、そこには手本となる大人がいなかった。高平地区では、65歳以上の高齢者が元気であり、高齢者が大切にされている等、農村部にいい所がたくさんある。 平たく言うと、お年寄りが大切にされているのが農村部で、お年寄りが邪魔者扱いされているのが、ニュータウンである。 自分の会社に勤める若者を見ると、都会育ちと田舎育ちとで大きな違いがあるとは思えない。 時代や常識が変わる中で変わらないのは、1つ目は「人間は食べないと生きていけないこと」、2つ目は「お金は食べられない」ということである。（要望意見）</p>	<p>(回答不要)</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>三田市の宝は農村であり、それを大事にする教育を進めてはどうか。農村部であれば生きていく自信がある。都会に行くとお金なので、お金がないと生きていけない、自殺者が増える。</p> <p>農村部にある学校を大事にし、農村部の魅力をもっとアピールし、人口が増えるような施策を展開してほしい。</p> <p>農村部の方が、豊かで人が住みやすい環境だと思う。しかし、学校がなくなると、地域に魅力がなくなる。これからも三田市が住みやすいまちであってほしい。</p> <p>（要望意見）</p>	
<p>⑤本当に12～18学級の学校が「望ましい学校」なのか。</p> <p>高平小学校は人数こそ少ないが、先生から受ける愛情は深い。</p> <p>市の状況から仕方ないところもあるだろうが、路線バスも3～4時間に1本しか来ないなど、その確保が難しくなっている。</p> <p>学校再編について「子どもたちにとって良い学校とは」という観点で再考してほしい。</p>	<p>⑤以前は、単学級の学校でも1学級30人程度の児童がいた。しかし、今は1学級10人に満たない学級が増えており、例えばソフトボールやバスケットボール等、学習指導要領で示されていることさえ出来ないということが起こっている。</p> <p>クラス替えがあることで、人間関係に課題が生じて、新たな人間関係を築くことができるということもある。小規模校を否定するものではないが、教育活動に様々な制約が出てきていることから、ある程度の規模を確保することのメリットは大きいと考えている。</p> <p>バスの臨時便についても、事業者にも様々な事情、限界もあると聞いている。再編に当たっては、登下校、部活動の事も考慮し、路線バスの活用、スクールバスの導入等についても検討していきたい。</p>
<p>⑥中学校については、学校再編することは仕方ないかと思うが、小学校となると話は別である。</p> <p>なぜ他市町の方が、三田市（ニュータウン等）に引っ越して来られたのかをよく考えてほしい。三田市には、身近に農村地域があり、その豊かさが魅力で三田市に人が集まっている。</p> <p>神戸市や大阪から三田市に引っ越してくる。その理由は農村部の豊かさである。</p> <p>子育てをするには、幼稚園と小学校は必須である。幼稚園は保育園などでカバーできるが、小学校がなくなれば、子育て世帯はいなくなる。小学校がどれだけ大切か考えてほしい。</p>	<p>⑥まず、課題の大きい中学校から再編を協議したいと考えている。部活動については、自分の入りたい部活動がその学校にあるのか、ないのかということは、非常に子どもたちにとって大きいことである。そういう活動をさせてやりたいという強い思いがある。</p> <p>教員の定数は決まっており、子どもの数が減ると9教科の教員数を確保できなくなる。中学校では、先生が自分の専門の教科ではない教科を教えなくてはならない状況（免許外指導）となる。専門の免許を持った先生が、専門に教えるということが、当たり前だと思うが、それができなくなる。</p> <p>免許外指導については、なんとかなくしていきたいと考えている。</p> <p>自分の入りたい部活がないからという理由で、私立の中学校に行かれる方も現実におられる。また、引っ越しされる方もいらっしゃる。</p> <p>市内のどこに住んでいても、同じ教育が受けられるということが重要であり、そのためには、ある程度の学校規模が必要であると考えている。市内のどこに住んでいても、同じ教育が受けられるということであれば、農村部にも住まれるのではないかと期待している。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑦最近の三田市を見ていると、銭勘定だけで動いているように感じる。教育行政も然りである。</p> <p>学校統廃合の件について数合わせでなく、銭勘定でなく、人の心をもって、人の気持ちで、取り組んでいただきたい。</p>	<p>⑦学校再編を、財政的理由で検討したのではない。財政面だけで言うと、そのまま学校を維持するより、バスを走らせた方が費用がかかるという試算もある。</p> <p>子どもたちは学校で日々生活している。先生だけではなく、子どもたち同士で学び合い、刺激し合うということが必要である。</p> <p>その環境としての学校を考えた時に、これからの子どもたちの教育の場として、このままで良いのかということを考えて、お示ししているところである。</p> <p>まちづくりについては、まちづくり協議会等でも議論をしていきたいと考えている。子どもたちの教育環境を考え、来年度、空調設備を小学校・幼稚園に設置することを議会に提案している。財政的な理由ではないことについては、ご理解いただきたい。</p>
<p>⑧去年までは、倒木の撤去についてパッカー車を出してゴミを回収していただいていたが、今年はお出ししてくれない。野焼き条例で燃やすことも禁止されている。自分がダンプで持って帰った。</p> <p>学校の施設の維持管理は、市がしなければならないはず。それをしないから、子どもが困り、親が迷惑を被っている。</p> <p>三田市は「自助、共助、公助」ときれい事を言っている。</p> <p>市が、自分で何とかすべきである。</p>	<p>⑧状況を確認し、対応させていただきたい。</p>
<p>⑨当事者の意見を十分聞き、じっくり議論して決めてほしい。</p> <p>「2年間かけて地域協議会で協議する」という説明があったが、それはどのように進めていくのか。</p> <p>学校があるから地域がまとまる。学校がなくなれば、地域がますます過疎化する。市教委だけではなく、市全体で考えてほしい。</p>	<p>⑨学校再編の対象となる校区に地域協議会を設置し、協議していただきたいと考えている。例えばA中学校区とB中学校との統合ということであれば、AとBで地域協議会を設置し、ご議論、ご検討をいただきたいと考えている。</p> <p>学校が地域に与える影響が大きいということは、そのとおりであり、地域づくりの視点も含めて、今後、地域の皆さまと相談、協議していきたい。</p>
<p>⑩高平に引っ越してきた。私たち大人が望んで引っ越してきたが、子どもたちが望んだわけではない。</p> <p>子どもは与えられた環境に順応しながら生活する。図書館司書も前校では配置され読書ができていたが、当時、高平小学校には配置されておらず、読書ができなかった。子どもたちは環境を選べない。</p> <p>今、話を聞いていると、子どもたちの話が出てこない。自分の子どもは、中学校に上がった時に、初めてクラス替えを経験して、とても新鮮な気持ちだったと</p>	<p>⑩貴重な意見をいただいた。市教委、また地域、保護者の皆さまとともに、そのことを中心において考えていきたい。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>言っていた。</p> <p>部活動では、新入部員が何人入ってくるのかが一番の関心事であり、入ってこなければ、その部活はできないという状況で「部活動がなくなるかもしれない」ということを大変心配していた。</p> <p>小学生が早い時刻に登校するのは負担が大きいので考慮してほしい。</p> <p>「幼稚園・小学校の保護者がどう思っているのか」に目を向けて検討してほしい。</p> <p>小規模校の課題は、小中学校の先生方が一番肌を感じてわかっていると思う。</p> <p>特に、中学校の先生が、小規模校が望ましくないと考えておられる割合が高く、考える時の参考になる。</p> <p>いずれにしても、子どものことを第一に考えて、検討してほしい。</p>	

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月28日（火）19：30～20：55 会場：ゆりのき台中学校体育館 出席者数：24人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①中学校の再編が優先と理解した。 学園地区には、小学校、高校、大学があり、急に児童数が減ったわけではない。 小学校は、まちづくりの拠点であり、自分としては、学校再編には否定的である。</p>	<p>①小学校が地域の拠点であることは承知しているが、小規模化が将来にわたって継続することに危惧を持っている。1学級10人を下回る場合、バスケットボールの試合が出来ない等、教育活動に支障をきたしている。 その課題解消の方策として、学校再編を考えた。今後、具体的な再編案を提示した上で、地域と十分協議したい。小規模校についてはメリットもある一方、様々な課題もあることから、地域全体で考えていただきたい。</p>
<p>②小規模校同士の統合を考えているのか、小規模校と大規模校の統合も含めて考えているのか。 統合すると、子どもの通学負担は大きくなると思うので、それを少しでも軽減できるよう考慮してほしい。</p>	<p>②小規模校と大規模校との統合も含めて、検討する。 通学負担については、考慮していきたい。</p>
<p>③わが子は現在25歳だが、三田に帰って来るたびに中学校、高校の時の友達と出会うなど、友達を大切にしている。地域に住む者にとってそれ程学校は大事。学校の小規模化を言われるが、目の前のことのみを考えている。 「子どもを大事に」という事を尊重して、三田の魅力をもっと発信してほしい。子どもを増やすようなまちづくりをしてほしい。</p>	<p>③特に、農村部での学校の小規模化は深刻である。子どもにとってどのような環境が良いのかを第一に考えたい。 全国的な少子化の中で、三田だけが人口、子どもの数が増えるということは考えにくい。三田のまちづくりについても合わせて考えていきたい。</p>
<p>④このような学校再編を柱とした基本方針は、三田市だけなのか。他市の状況も教えてほしい。 少人数の他市の状況も参考にされたらどうか。ニュータウンも農村部も両方を大事にしてほしい。「教育の平等」ということを考えてほしい。</p>	<p>④どこも再編を実際に進めている。 三田のどこの地域に住んでいても、同じ教育を受けられることこそ「教育の平等性」だと考える。</p>
<p>⑤ゆりのき台小学校は、今後かなりの児童数になる。 小規模校だけではなく、逆に大規模校への対応はどうするのか。</p>	<p>⑤ゆりのき台小では今後1,000人を超える規模になり、過去最大規模とほぼ同数になる予想をしていることから、現在すでに教室の増築を行っている。 しかし、10年後には児童数の減少に転ずることが予想されることから、同じゆりのき台地区を2つの学校区に分断することは課題が大きいこと等から、新しい学校を建設するのではなく、校舎の増築や少人数指導ができる教員の配置等の方策を講じる方が良いと判断している。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
⑥暑い中、エアコンが設置されていない	⑥エアコンについては、来年度に向けて整備を予定している。
<p>⑦今日の説明で、どのようなプロセスで基本方針ができたのかはわかった。特に、小学校は教育のみではなく、地域・まちづくりとも関連している。</p> <p>今回、教育委員会は学校再編という一番わかりやすい方策を取ったと思うが、他の部署とも十分協議して、全市的な視野で総合的に判断してほしい。</p>	<p>⑦審議会の中でも、学校と地域とのつながりに関する意見を聞いたが、第一義的には「学校は、子どもが毎日、生活、学習する場である」という観点から、今回の結論に達したものである。</p> <p>まちづくりについては、各地域にあるまちづくり協議会といった組織とも連携しながら、総合的に考えていきたい。</p>
<p>⑧現在、ゆり中まで自転車で通っているが、雨天時はバス通学となり、交通費の負担が大変大きい。</p> <p>また、路線バスの便が少なく、部活動も出来ないということもある。まずバス便等を充実させてから学校再編を検討してほしい。</p>	<p>⑧学校再編を検討するにあたっては、スクールバスも含めて検討している。部活動等も含めて、子どもたちの教育に支障がないようにしていきたい。</p>

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：8月29日（水）19：30～21：00 会場：富士中学校体育館 出席者数：39人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①再編は、すべての中学校区で可能性があるということか。同じ時期に統合が進んでいくのか、段階的に進んでいくのか。</p> <p>対象校はある程度めどがついているのか。</p>	<p>①中学校の小規模校について再編案を示していく予定としている。同時にすべての中学校区ということは難しいことも想定される。小学校についても希望があれば、説明会を実施していきたい。</p> <p>具体的な再編案は、説明会での意見も踏まえて策定する予定としている。</p>
<p>②「地域協議会を平成31・32年度に開催する」との説明であるが、原則2年協議するとすれば、統合は平成33年度から具体的に進むのか。</p>	<p>②地域協議会で合意形成が得られた後、準備会での調整を経て再編ということになる。協議会で2年間協議を行う場合は、早くて平成34年度となる。地域協議会が1年で終われば平成33年度ということも可能性としてはあり得る。</p>
<p>③地域協議会の構成メンバーはどうなるのか。市民や保護者の意見は反映されるのか。</p> <p>市長が交代すれば、この方針も根底から変わることもあるのか。</p> <p>統合には賛否両論あり、意見が一つにまとまるかはわからない。両方の立場から人が選出されるような枠があればよいと考える。</p>	<p>③地域協議会の構成として、自治会、PTA、学校関係者などを想定している。保護者の意見については、PTAの中で意見交換していただいたり、場合によっては、アンケートを取ったりしていただくことでまとめていただきたいと考えている。</p> <p>この基本方針は確定をしており、市長が変わっても、この基本方針自体が変わることはない。</p> <p>いろいろな意見があると想定されるが、100%一致した意見でまとまるということは、難しい部分があると思う。保護者の意見を集約し、それぞれの意見を代弁していただける方を地域協議会の中で選出いただきたいと考えている。</p>
<p>④合併する場合、多い学校に合併するのか。</p>	<p>④再編後の学校の場所については、バランスを考慮し、児童生徒の通学負担等も考慮して決めたい。</p>
<p>⑤現在の中学校PTAはもう卒業してしまうので、より関係のある小学校PTAの方を協議会に入れてほしい。市民公募の枠も作ってほしい。</p> <p>学校再編の理由として、財政的理由もあると思うが、学校再編により教育環境が向上するように施設整備は検討されるのか。</p>	<p>⑤地域協議会には各小学校区の方から入っていただく予定である。市民公募については、各小学校区で委員を選ぶ際に考慮するという方法もあり、検討していく。</p> <p>再編にあたっては、校舎改修等の施設整備についても検討していく。小学校、幼稚園の空調整備（普通教室）については来年夏をめざして整備していく。</p>
<p>⑥この説明会や基本方針へのパブリックコメントについて、市民にどのような方法で周知したのか。</p>	<p>⑥説明会については、小中学校の保護者に児童生徒を通してチラシを配布した他、区自治会回覧、市広報紙、ホームページ等の方法により広報した。</p> <p>パブリックコメントについては、市のホームページや市民センター窓口への設置、学校PTAを通しての広報等の方法でお知らせした。</p> <p>パブリックコメントは、15名から41件の意見をいただいた。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
⑦アンケートによると多くの方が、学校の小規模化は望ましくないと回答しており、私自身も基本方針に賛成する。子ども同士が情報交換し、多様な考え方に触れるためには、一定規模の学校で学ぶことが必要である。富士が丘と弥生が丘地区は寺子屋など、様々な活動を共同で行う等、まとまりがある。（要望意見）	（回答不要）
⑧将来推計で、富士中学校は少し増えるのに、小学校は大きく減るのはなぜか。「可能な限り、行政区と校区の整合性を図る。」とあるので、富士小学校はフラワータウン内での再編を基本に考えているということでしょうか。	⑧小学校では、児童数の多い学年の子が卒業し、少ない学年の子が入って来るので、そのような傾向になる。現在の富士小学校の校区をベースに、保護者、地域の意向等も確認しながら検討したい。
⑨学校再編があり得ることから、直近の学校への設備投資は控えるのか。	⑨空調設備については先ほど説明したとおり対応していく。施設の大規模改修は難しいが、小修繕等については学校からの要望も聞きながらできる限り対応していく。
⑩「適切な時期に小学校も検討」とあるが、中学校から先にはなく、小学校と中学校とを含めて検討する方がよいのではないか。	⑩地域から「小中学校を一緒に検討したい」という声があれば対応していく。
⑪今日の説明会に来ていない人は、「学校のあり方に関する基本方針」が学校の統廃合に関することだとわからない。それを多くの方に周知する必要があるのではないか。	⑪広く市民に知っていただくよう周知していきたい。
⑫三田市立学校園のあり方審議会は13名で構成されたようだが、地域協議会の構成員数は何人程度と想定しているか。	⑫各小学校区から3～4人、中学校区でまとめた場合10数名～20名程度を想定している。各校区より、代表として来ていただくことになるが、個人の思いというよりも、地域で話し合っていたいただいた意見をまとめて、地域協議会に持ってきていただき協議し、再編の是非について結論を出していただきたい。
⑬小規模校にはメリットもある。学校再編により小規模校のデメリットが解消されるのはわかるが、そのメリットの部分も活かせるような方法を併せて示してほしい。	⑬大規模校であっても、クラスを割って授業をしたり、加配教員を入れて少人数指導が可能となるようにするなど、小規模のメリットを活かした、きめ細やかな指導も行うことができる。
⑭義務教育学校にしない理由は何か。近隣市の義務教育学校の設置状況は。説明会の会議録は公表されるのか。	⑭義務教育学校には、「人間関係の固定化につながる」、「小学校から中学校に上がるというモチベーションが持ちにくい」、「他の小中学校との格差が起こる可能性がある」など、学校運営上の課題もあることから、当面実施しないこととしている。兵庫県では、神戸市・姫路市に各1校ずつ設置されている状況であるが、他はなかなか進んでいない状況である。 説明会の会議録は、全中学校での説明会が終了後、出来るだけ早い時期に市ホームページで公表したい。
⑮廃校後の跡地利用について、市として最低限の設備投資はするのか。売却することもあり得るのか。	⑮跡地利用については、地域とも十分協議するし、市として総合的に判断していくこととしている。
⑯秋以降に再編案を出すとのことだが、再編対象校以外の人はどうのように知ることになるのか。小中学校のPTAにはぜひ伝えてほしい。	⑯再編案については市ホームページや、新聞報道等の方法により公表する。PTAにもお知らせする。

三田市立学校のあり方に関する基本方針説明会記録

日時：9月26日（水）19：30～ 会場：八景中学校体育館 出席者数：35人

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>①少子化は全国的な課題であり、現状だけで考えるのではなく将来的なまちづくりをどうしていくのかを考えてほしい。人口をどう増やすか、一度外に出た人をどう呼び戻すかを考えてほしい。</p> <p>学校を統合した時は「通学時間を1時間以内」となっているが、何kmを想定しているのか。その際の防犯・安全対策はどうするのか。</p> <p>「希望のある小学校も検討する」とあるが現在何校から希望があるのか。</p> <p>中学校の再編は、何年度を目途としているのか。</p>	<p>①まちづくりについては、市のブランド化・空家対策等、様々な取り組みをしている。三田の教育も大きな魅力の1つ。20～30年先を見通すのは難しいが、今後もまちづくりについて考えていきたい。</p> <p>遠距離通学補助の基準は現在、小学校3km、中学校4kmとしており、基本的には、それ以内は徒歩、自転車、それ以上は路線バスやスクールバスが中心となると考える。登下校の安全対策についても考慮していきたい。</p> <p>現時点では、まとまった意見として希望されている小学校はない。</p> <p>平成31～32年度に地域協議会、平成33年度に準備会をすると仮定すると平成34度からとなる。地域協議会が1年でまとまれば、平成33年度からとなる可能性もある。</p>
<p>②8学級以下の中学校が再編の対象となるということか。統合すると非常に広い校区となる。防犯上問題ではないか。1学級の定員を減らして学級を増やせばよいのではないか。</p>	<p>②家から学校までの通学時間が1時間を超えないように配慮し、出来るだけ時間短縮していきたい。中学校の1学級の定員は40人で、これは法令で決まっていることから、市独自で変えることは難しい。</p>
<p>③自分が子どもの頃は校区が非常に広がった。交通事情も違うと思うが、安全面も考慮してスクールバスを走らせてもらったらいいのではないか。まちづくり協議会などを活用して市民の意見を聞いてほしい。</p>	<p>③本日は基本方針の説明会であり、具体的な再編計画を協議する時には、まちづくり協議会も含めて地域のみなさんの意見を聞きながら協議していきたい。</p>
<p>④2つの中学校が統合した時には、新しい学校をつくるのか。</p>	<p>④まだ公表できる状況ではない。新しい学校をつくることも選択肢の1つではあるが、既存施設を活用する場合、改修等はしていきたい。再編案については、校舎の場所も含めて提案する。</p>
<p>⑤富士中学校での説明会で「学校再編は大事な問題だから、説明会に出席した20～30人では簡単に決められない」という意見があった。この会の周知方法は適切だったのか。</p> <p>地域協議会のメンバーとして自治会代表が入っているが、一般市民は意見が言えないのか。</p> <p>パブリックコメントは何件あったのか。</p>	<p>⑤保護者へのチラシ配布、区自治会の回覧、市広報紙、市ホームページ、市民センター等にビラの設置等、様々な方法で周知させてもらった。具体的な再編案の説明会ではたくさんの方が来られることを期待している。</p> <p>PTAや区自治会の代表の中に一般の方が入ることも考えられる。アンケートや聞き取り等の方法で、多くの地域の方の意見を集約してほしいと考えている。</p> <p>パブリックコメントは41件、15名からあり、全てに回答している。</p>

出席者の主な発言	事務局回答（概要）
<p>⑥基本方針には小規模校のデメリットが多く書かれているが、大規模校にもデメリットがあるはずで、それにはどう対応するのか。</p> <p>説明会は小さい子がいると出にくい時間帯でもあり、多くの人は学校の統廃合という大事なことを話し合っているとは思わないのではないか。ホームページへのアクセスの仕方についてもわかりにくかった。周知の仕方、PRをもっと工夫してほしい。QRコードを付けるなど工夫してほしい。</p>	<p>⑥審議会の答申では、大規模校への方策についても触れている。少人数授業については継続していきたい。</p> <p>保護者へのチラシ配布、区自治会の回覧、市広報紙、市ホームページ、市民センター等にビラの設置等、様々な方法で周知させてもらった。ホームページは新着情報にも掲載した。また、検索するとすぐに表示される。更なる改善ができないか検討するが、知り合いにも声をかけていただくなど、周知に協力願いたい。</p>
<p>パブリックコメントの回答に「子どもたちの意見は聞かない」とあるが、それで良いのか。</p>	<p>子どもについては、今の学校が全てであり、他の学校と比較しながら考えにくい。子どもの教育環境をどうするのかは、我々大人の責任で考えていきたい。</p>
<p>⑦この件に関しては、子どもが当事者であり、その意見（子どもの尊厳）を尊重してほしい。</p>	<p>⑦子どもの尊厳を大切にする方法を考えたい。</p>
<p>⑧学校再編する際、同じ小学校の児童が分割して別々の中学校に通うこともあるのか。</p>	<p>⑧基本的には小学校校区を単位として再編を考えたい。</p>
<p>⑨八景中学校の通学路は大雨が降ると水浸しになる。校舎等の改善も含めて、もっとしなければいけないことがあるとおもう。</p>	<p>⑨中学校からの要望も聞きながら検討したい。</p>
<p>⑩八景中学校の環境は決してよくない。避難所として適切なのか。本当に安全安心な学校になるようにしてほしい。</p> <p>地域協議会メンバーとして組織名が書いてあるが、漠然としていてよくわからない。もっと具体的に示してほしい。</p>	<p>⑩避難所についてはご意見としてお聞きしておく。</p> <p>協議会に入っただく組織としては、PTAや区自治会などが中心になると考えるが、地域によって違いがあると思うので、各地域で一番よいメンバーを集めていただきたいと考える。</p>
<p>⑪パブリックコメントにあった「子どもの意見は聞かない」というのは訂正できるのか。子どもの権利条約にも子どもが自分の考えを表出することは保障されている。</p> <p>地域協議会の中に「自治会」とあるが、今は自治会に入らない人も多い。その人たちの意見は聞かないのか。</p>	<p>⑪パブリックコメントと回答は一旦終了しており訂正はできない。子どもの意見を聞くことについては、今後検討していきたい。</p> <p>出来るだけ重層的に意見が反映できるように、各地域の実情に合わせて意見集約の方法を考えていきたい。</p>
<p>⑫多くの市民に十分周知されていない状況で、三田のまちづくりにもつながる重要な内容を急いで提案する必要があるのか。</p>	<p>⑫出来るだけ多様な方法で周知を図った。次の再編計画の説明会では、ご意見も踏まえて周知を工夫していきたい。</p>
<p>⑬地域協議会の結果によっては「再編を非とする」こともあるのか。</p>	<p>⑬地域が総じて「非」となれば再編はできないが、子どもたちにとってより教育環境について、粘り強く説明し、ご理解をいただきたいと考えている。</p>
<p>⑭学校統廃合の歴史的な経過を考慮して検討したのか。</p>	<p>⑭歴史的経過について考慮して検討してきた。今後も経過を確認しながら検討していきたい。</p>